

2019年9月18日 イスラエル選挙後アップデート

アミール・ツアルファティ

- 選挙との情報アップデート -

<https://youtu.be/R6jblYJGQ94>

皆さん、シャローム。アミール・ツアルファティです。今回は、ベンジャミン・ネタニヤフにとって、良い結果ではなかった昨日の劇的な出口調査に続いて、選挙後のアップデートです。

さて、これまでのところ、物事は、ほぼ同じです。投票の90%後、ベンジャミン・ネタニヤフと彼らのライバル、ベニー・ガンツの党は、全く同じ議席数、32議席を獲得したようです。数ヶ月前の前の選挙では、両方が35議席ずつ獲得しました。だから、大政党の力が弱まっています。彼らは、もはや以前ほど大きくはありません。そして小さな政党は、今回、少し大きくなりました。しかし、これまでの結果から、はっきりと見ることができるのは、イスラエルの右翼は56議席で、左翼とアラブ党は55議席。そして、アヴィグドール・リーバーマンは、9議席を獲得しています。もちろん、彼は両側で政府を形成することが求められる人物です。ひとつ確かなことは、ネタニヤフは、ベニー・ガンツよりもリーバーマンを彼の側につける確率がかなり高いということ。単に、ガンツはアラブ政党に求めている、彼らは圧倒的に…、イスラエルの社会では彼らは非シオニストであるという民意が幅広くあります。彼らはユダヤ人の国家として、確実に私たちの側にはついていません。彼らは、実際にはパレスチナ大義の方に、より協力しています。だから、対抗政党が連立政権を形成することは、非常に難しいのです。

ここで要点に入ります。大きな政党の両方が手を携えることで、何らかのかたちで同意しない限り（難しい）、そして、私たちが「国家統一」政府と呼ぶものを持っている。もしそれが、私たちに与えられるなら、私たちは決定する必要があります。私たちは超正統派を除外するのか？リーバーマンを捨てるのか？だれが除外されるのか？なぜなら、彼らの両方は、いま、それぞれ32議席ずつ、合わせて64議席となって形成することができるようになりますから。それは、長く続くことも可能です。さて、これらの選挙の最大の問題は、対抗馬の政党が、「ネタニヤフ以外なら何でも」ということ以外、他に全く政治方針を持っていない点です。そこで疑問は、だれが政府を率いるのか？この、国家統一政府の首相になるのはだれなのか？ベンジャミン・ネタニヤフは、絶対に首相としての地位を断念するつもりはありません。彼は間違いなく、56議席で右翼の最大の区画をリードしています。アラブ党を除いた左翼は、実際には43議席です。それにリーバーマンを追加したとしても、アラブ人なしでは、彼らは決して右翼を越えることができません。シオニストのユダヤ系イスラエル人は、大多数がベンジャミン・ネタニヤフをイスラエルの首相として支持しています。ここで問題は、イスラエルの大統領は、何を決定するのか？彼は、だれに政府を形成する権限を与えるのだろうか？言うておきますが、選挙の第3ラウンドがイスラエル人に強いられるというのは、想像上のシナリオではありません。これまでに一度もありませんでしたが。残念ながら、私たちが、ここまで分裂したのは初めてです。しかしネタニヤフには「引き続きイスラエルを偉大にする」という、素晴らしい政策がありますが、相手の政党は、「我々は、とにかく物事をより良くする」という以外、持続的かつ信頼性の高い政策を正確には持っていません。ネタニヤフがそこに在る限り、すべてが素晴らしいでしょう。

さて、これが今の状況です。皆さん、右派56議席、左派43議席、アラブ党12議席、アヴィグドール・リーバーマン9議席。今、私たちは行き詰まっています。リーバーマンと申すだけだが、ネタニヤフと一緒にすることを決定しない限り。またはガンツが首相になることを主張せず、ベンジャミン・ネタニヤフに加わることを決意しない限り。そうすれば、我々には政府ができます。私は、どちらのシナリオも信じ難いと感じています。なぜなら、もしリーバーマンがネタニヤフに加われば、4ヶ月前にそうしていたでしょうから。そして、もちろん私たちは、この第2ラウンドを免れたのです。しかし残念ながら、ネタニヤフとリーバーマンの間に個人的な競い合いがたくさんあって、リーバーマンが、今回、ネタニヤフと手を組むようには見

えません。私たちは、もはや驚きません。数ヶ月前、彼が参加して政府を始めなかったとき、私たちは驚きました。しかし、リーバーマンのここ数ヶ月の間の振る舞いを見ると、私たちは、もはや驚きません。彼は文字通り、反対側に寝返ったことは明らかです。そして、彼はこれらすべての民の票を取っています。9議席です。彼は、それらを取って、実は彼らが知りもしない指導者と手をつないでいるのです。そして、彼らは投票もサポートさえしていないのです。これは少し巧妙です。しかしひとつ確かなのは、私たちは、まだ終わっていないドラマを見ています。これから数日間間違いなく…、このすべてを決定づけます。大きな政党に関して言えば、ガantzの政党は、ネタニヤフのリクードよりも3万票多いのです。議席数は同じですが…、議席の数が決まっています、今、彼らは32議席で同じです。しかし皆さん、あとは…、あとは兵士と外交官の一部の投票だけです。それと早期に投票した人の票は、まだ数えられていません。それが逆転すれば、その時、ネタニヤフの政党は最大になります。右翼が最大になるのです。もちろん、それによって政府を形成する権限をだれに与えるのかを決定するイスラエル大統領の生活は、はるかに楽になるでしょう。だから、残念ながら夜の中にネタニヤフにとって事態は悪くなりましたが、朝に向かって物事は良くなりました。より多くの票が数えられるにつれて、巻き返しがあったようです。ネタニヤフは、実際には2議席少なかったのです。33対31でしたが、いまは32対32で、これは良いことです。これらの2つの政党が同じ数の議席数を獲得していますから、右翼の区画は実際には大きいのです。右翼は左翼よりも大きい。大統領にとっては、ネタニヤフに政府を形成する権限を与える方が簡単かもしれません。しかしイスラエル大統領が、ネタニヤフに政府を形成する権限を与えたとしても、ネタニヤフは、この時点で首相として彼を推薦する数が、61に達していません。ですから現時点では、何人かの人々が離脱をして、ネタニヤフの陣営に移動する奇蹟が必要なのです。もしくは、ガantzが首相にならないと決断するか。またはリーバーマンが正気を取り戻し、彼の拠点に戻って、ネタニヤフと手をつなぐか。私は、それが最も可能性の高いシナリオだと思います。もし彼が望むもののすべてを手に入れるなら、今度はうまく行くかもしれません。そうすれば、我々は、イスラエルの選挙の新たなラウンドに突入しなくても良いのです。ですから、繰り返しますが、私たちはドラマが続くのを見ています。

もうひとつ、皆さん、現在のサウジとイラン紛争に移りましょう。サウジアラビアは、今日、記者会見を計画しています。その記者会見で、彼らは4日前のサウジの製油所への攻撃の背後にはイランがいるという証拠を発表する予定です。さて、非常に明確にしておく、ロケットのいくつかは爆発せずに、標的を外しました。そのため簡単にそれらを回復して、内部のすべてを見ることができたのです。それと、すべてのコマンド、すべてのコンピュータコマンド、および内部のすべての電気回路も。そして、それらは確かに革命防衛隊によってイランの土壌から発射された、という結論に至りました。それが、本当にイラクから発射されたのだと全世界を欺こうとしました。または、彼らが最初に言ったように、「それは実際にはイエメンの攻撃だ」。私たちは、同時に2つのドラマが繰り返されるのを見ています。イスラエルでは、だれもが次の首相が分かるのを待っています。まだ不明です。そして、イランとのサウジ地区では、今夜、記者会見が予定されています。そこで、イランが攻撃の背後にあるというだけでなく、実際、あれはイランの土壌からの攻撃であったことの証拠が明らかにされるでしょう。すべての国際法により、サウジアラビアは戦争を開始する権利があります。逆襲し、一方的に何かを始めたと思われないように。その攻撃に報復することで、世界のすべてがサウジアラビアの正当性を認めるでしょう。国連を含む地球上のどの国も、そのために彼らを非難することはできません。問題は、イランとイラン政府と深くつながっている人々が、すでに言っていることです。「さあ、外交的な解決策を見つけよう」サウジアラビアは、巡航ミサイルで攻撃されたのですよ？石油生産の半分が麻痺したのです。なのにドイツは、「外交的な解決策を見つけよう」と言い、ロシアは、「外交的な解決策を見つけよう」と言う。そしてトルコも、「外交的な解決策を見つけよう」と言います。これらの国々が、正義と真実ではなく、いかにイランの利益を守っているか、とても興味深いことです。だから私たちは、決して彼らを信用できないのです。それはイランの各計画に関して、私たちは絶対の絶対的に彼らを信頼しません。イランは国際原子力機関の鼻先で、すべての超大国の鼻先で、ウランの生産のための秘密施設を運営していたのです。イランは、兵器レベルのウランの生産を1秒たりとも停止したことはありません。我々が、それを証明しました。我々は、彼らが「カーペットの掃除をしている」と言った場所で、ウランの痕跡を発見したのです。カーペットをきれいにするためにウランは必要ないので、それはデタラメです。要は、皆さん、イランは世界を欺いているのです。イスラエルは注意喚起を呼びかけていて、サウジ

アラビアも注意喚起しようとしています。アメリカは無関心ではられません。私は、アメリカ自体は攻撃しないと信じていますが、サウジアラビアに、なにかをすることを許すかもしれません。制限を設けるかなにか、私にはよく分かりませんが、たぶん、イランに何らかのかたちで、さらなる財政的圧力を加えるかもしれません。これ以上の制裁があるかどうか、私には分かりません。しかしひとつ確かなのは、同じイラン、同じ意図、ムッラー、同じアヤトラーの同じ意図です。それが、なぜ…、私たちは驚いているのですか？私たちは彼らが変わらないことを知っています。彼らが「天使」に変わることはありません。最終的に、彼らは物理的にイスラエルに攻め込んでくることを知っています。

私たちは、サウジアラビアで興味深いことが起こるのを見ています…。彼らとイランの間で。しかし同時に、イスラエルの政治的行き詰まりは続いています。私たちは、首相がだれになるのか、また政府はいつ形成されるかを定める決定的な結果を得ていません。私たちは、何日も待つことになるでしょう。まず第一に、私たちが待つべきものは、「イスラエルの大統領は、だれに政府を形成する権限を与えるのか」。なぜなら、その人物は、すべての政党との交渉を開始する必要があるからです。もし、ネタニヤフに権限が与えられるならば、おそらく簡単になるでしょう。彼には、首相として彼を推薦する人が、ずっと多くいますから。イスラエルの大統領は、現在、すべての異なる政党の指導者に会い、そして彼らに、だれを首相として推薦するかを尋ねることが予定されています。それらのすべてを聞いた後、正式に、彼は適切な人に政府を形成する権限を与えます。そしてその人は交渉し、イスラエル議会の承認を政府に同意させるために、数週間が与えられます。ネタニヤフは、前回、それに失敗しました。彼は十分な人々に推薦されました。そして彼は、座って交渉を開始する権限が与えられました。そして、彼は気づいたのです。「アヴィグドール・リーバーマンは、私の政府の一員になるつもりはない。したがって、私は過半数を持っていない」また同じことを見るのか？そうならないことを願います。しかし、私はむしろベニー・ガンツが政府を形成するよりも、そちらを望みます。私は、イスラエルが「自殺」を犯さないことを本当に願っています。投票によって、または完全にイスラエルに反対している人々の投票に傾いている首相を持つことによって。国として、国家として、そして…、ユダヤ人のための故郷として。展開を見届けなければなりません。

今回は、選挙後のアップデートでした。私はアムステルダムにいて、明日アメリカに向けて出発します。皆さん、理解しておいてください。イスラエルには、決定的な結果はありません。私たちは、おそらく、政府を形成する候補者がだれになるのかを知るために、数日間待ちます。その後、その人が最終的に政府を形成することができるかどうかを確認するために、数週間かかります。それまでは、ネタニヤフ首相が継続します。私たちが展開を見るまでは、暫定政府の暫定首相です。ええ、これらは私が期待していた結果ではありません。しかし実際には、今朝は、昨夜よりも良くなりました。昨夜、相手はもっと議席を持っていたのです。そして、左派は実際、右派よりも大きかった。私たちが、今朝目ざめると、右翼を持つ両党が32の同数となっていて、過半数を獲得しました。ですから、今朝は、よくなったように見えます。しかし、まだ誰が首相になって、政府を形成するのかを知るには、十分ではありません。

この選挙後のアップデートをご覧いただき、ありがとうございます。今後もシェアをしますので、注意して見ていてください。サウジアラビアとイランの間で、劇的な発展がありますから。そこにアメリカとロシアが巻き込まれるかもしれませんし、あちらで地域戦争があるかもしれません。しかし同時に、イスラエルでは、現役首相は、まだベンジャミン・ネタニヤフです。彼の、イランとイランの地位確立との戦い、ガザのテロリストとの戦いは、まだ続いています。私は、イスラエルが選挙の第3ラウンドに行かないことを、本当に願っています。

ありがとうございます。

アムステルダムより、God bless you !

そしてシャローム。

Behold Israel

イスラエル選挙後アップデート 2019年9月18日

次回のアップデートでは、より良いニュース、より鮮明な描写がお伝えできることを願っています。

ありがとうございます。

アムステルダムより、God bless you !

シャローム。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2019.09.23 (Mon)